



演劇部で公演したときの写真

九大生が案内する世界のキャンパス

留学先大学

ウプサラ大学

(スウェーデン)

九州大学21世紀プログラム課程3年 大島怜子

私は、高福祉国家スウェーデンの教育制度を勉強したかったので、教育学部でスウェーデンの教育観についてその背景を学んだり、今日の教育現場を知るために市内の小中学校に視察に行ったりしました。勉強は学生の自主性に任されており、文系の授業は週3日しかなかったため、その他にもスウェーデンの得意分野である持続可能社会についての講義やスウェーデン文学の講義も聴講していました。学生街として発展した歴史あるウプサラ市内には、13のNationと呼ばれる県人会があります。どの



Nation (県人会) でのスウェーデン料理ディナー

一年の3分の2は寒くて暗いウプサラでしたが、ヨーロッパ諸国はもちろん、アジアや中東、アフリカ、北南米からの学生と多く触れ合い、世界各国からの良い友達に恵まれたことで、厳しい冬を乗り越え、楽園のような夏を共に楽しめました。「友達は財産」だということを身に染みて感じた一年間でした。皆さんも是非、気候も環境も九州とは全く異なるスウェーデンに留学してみませんか？



ウプサラ大聖堂と市内を流れるフェリス川



雪化粧のウプサラ城

近くなりますが、どれも街のすぐ近くにあります。政治(ウプサラ城)と教育(ウプサラ大学)と宗教(ウプサラ大聖堂)が密接に関わりながらウプサラが発展してきたことを、街を見れば感じ取ることができます。

Nationも独自の建物を持ち、ここではLunchやPub、Club等の様々なアクティビティが行われています。私はそこで演劇をしていました。4月初めには公演週間があり、一週間ぶつ通しで舞台をしました。以前から挑戦したかった英語演劇に打ち込めたことはとても特別な経験でした。スウェーデンには、お茶をしながらお話をするFikaという文化があります。市内には雰囲気の良い昔からのcafeが沢山あるので、昼間は友達とFikaをし、多くのことを語りました。

大学の特色



ウプサラ市は、首都ストックホルムから車で40分ほど北西に行った所にあります。人口は約13万人で、スウェーデンでは4番目に大きな都市です。

ウプサラ大学は、1477年に創設された北欧最古の大学です。学生数は約4万人、教員数は2千人程です。ヨーロッパの最も権威ある高等教育・研究機関の一つで、これまでに15人のノーベル賞受賞者を輩出しています。大学間及び産学協用に積極的に、ヨーロッパやアメリカ、アジアなど、世界の1,000以上の大学と約3,000にのぼる共同研究を行っており、毎年、約5,000の学術出版物を発行しています。

生物医学の分野が特に強く、平和・紛争問題や持続可能社会づくりに関する講義があるのも特色です。キャンパスは学部によって異なりますが、どれも街のすぐ近くにあります。政治(ウプサラ城)と教育(ウプサラ大学)と宗教(ウプサラ大聖堂)が密接に関わりながらウプサラが発展してきたことを、街を見れば感じ取ることができます。